

校歌にみる尼崎の様子(歴史文化 産業 地勢 自然)

校名	歴史	産業・工業	地勢・地理	自然
明城小学校	琴浦城		庄下川	フェニックス
下坂部小学校	大近松の名とともに	世界をつなぐ空と海	六甲 摂津野	
杭瀬小学校				
大庄小学校				
大島小学校			六甲の峰 武庫川	松風
立花西小学校			六甲 武庫の流れ	宇宙
尼崎北小学校			六甲 富松野	稲の波
武庫南小学校			六甲山 武庫の流れ	
武庫の里小学校	におう緑は歴史を語る		六甲の山並 武庫の流れ	
園和北小学校			六甲の峰	
園田南小学校			園田の里 藻川の流れ	
難波小学校		煙をくぐれ煙を超えよ		またたく星へ
潮小学校		貨物列車に積荷する 工都に育つ僕達は		寒椿 霜柱
浦風小学校				この浦風に鍛えられ
成文小学校		機械の響き鐘の音 産業日本を逞しく	武庫の流れ 大庄の野 ちぬの浦和	松 薨の穂波
浜田小学校		工都の響き	武庫の川	バラ ポプラ
立花北小学校			六甲 武庫の川	
水堂小学校			六甲 武庫川 猪名の川	
武庫北小学校			六甲の山 武庫の川	楠の木 松の木
園田小学校	長い歴史の学びの園に		六甲 藻川	宇宙 科学
園田東小学校	昔を語る猪名の川辺	空と陸とを旅行く人	猪名の川辺	
難波の梅小学校				橘の風 難波の梅
長洲小学校	管公ゆかりの松今も		六甲	
金楽寺小学校		黄色の煙湧き上がる工都		紅梅 楠木
成徳小学校			琴の浦辺の葦原に	
立花小学校			六甲の山 武庫の川邊	花さえ実さえ
名和小学校	名月の影	生産の音はつらつと	武庫の山 庄下川 尾浜野	橘
七松小学校			遠い海	松
武庫東小学校			武庫の川 六甲の山	
園田北小学校				
上坂部小学校		工場の町に続く海		白菊黄菊 巴は水の湧く姿
竹谷小学校			六甲 武庫川 大阪湾	若竹
清和小学校	管公船出のゆかりの地	世界を潤す産業の技を磨いて	武庫の山 一面の海	
浜小学校	神崎の古跡のゆかり	青空高く煙立ち	武庫の山並 小墾田野	松 浜の鏡
わかば西小学校	統合による新設	よって2016年8月現在	校歌は未確認	
立花南小学校			六甲 武庫の流れ	宇宙
塚口小学校			六甲 武庫の流れ ちぬの湖	
武庫小学校	校舎建ちて幾年か古き歴史		六甲の山並 武庫の川	
武庫庄小学校			六甲の山並	
園和小学校	歴史を語る故郷は			
小園小学校				
旧 城内小	難波の都 琴城	工場に立てる黒煙の 出船入船 港に鳴らす太笛		
旧 梅香小				梅香
旧 常光寺小		煙みなざれ響き立て		橘
旧 西小			六甲 武庫の流れ 新国道	ポプラ
旧 御園小		工業都市 煙たなびく	猪名 六甲の山々	葦
旧 若葉小			武庫の河原 六甲山	

校歌は 忘れ得ぬ故郷のような存在

校歌には、教育に関わって想いや願いが込められています。市内各小学校の校歌に関わって、歌詞の言葉を分野別にまとめたのが、前ページの表です。

一番多く用いられているのは「六甲山」にちなんだ言葉で、約半数の学校で歌われています。次に「武庫川」に関わる言葉が全体の約3分の1です。また、両方を歌う学校も少なくありません。校歌は地勢に関わって雄大な自然を語るものが、目立ちます。「山」と「川」は、その代表の言葉なのでしょう。他には、「野」や「海」「湖」を歌う学校もあります。恵まれた自然環境の中で、子ども達は育まれていくということでしょうか。

歴史の言葉に目を向けると、「地域の歴史文化」を語るものと「学校の伝統」を歌うものに分けられます。「大近松」（下坂部小）は近松門左衛門を、「菅公」（長洲小、清和小）は菅原道真を、「名月」（名和小）は名月姫を讃えた言葉です。「〇〇ゆかり」（長洲小、清和小、浜小）という言葉には、地域の人々が歴史文化を大事とする想いが伝わってきます。歴史に関わる言葉は、全体から見れば、そう多くはありませんが、大切にしたいところです。

産業・工業に関わる言葉は、案外多いです。これは、工業と共に発展してきた尼崎を反映していると言えるでしょう。特に注目したいのが、「煙」です。「煙をくぐれ 煙を超えよ」（難波小）、「黄色の煙 湧き上がる工都」（金楽寺小）、「煙みなぎれ 響き立て」（旧・常光寺小） 「工業都市 煙たなびく」（旧・御園小） 「工場に立てる黒煙の」（旧・城内小） 「青空高く煙立ち」（浜小）等です。今は「煙」は公害のイメージがあるかも知れませんが、当時はもくもくと湧き上がる煙を、子どもの成長と重ねて歌詞に取り入れられたようです。「工都」も潮小、浜田小、金楽寺小の各校で用いられ、工業の都としての尼崎に誇らしさを感じます。他には、陸路や海路、空路など、いわゆるインフラに関わって発展を歌うものもあります。「貨物列車に積荷する」（潮小） 「世界をつなぐ空と海」（下坂部小） 「工場の町に続く海」（上坂部小） 「空と陸とを旅行く人」（園田東小） 「出船入船 港に鳴らす太笛」（旧・城内小）等です。

その他の自然に関わる言葉で目立つのは、植物名です。「松」「竹」「梅」「橘」等ですが、単にめでたいというだけでなく、校名や地域の歴史、自然に係って歌われることも多いようです。

このように、市内各学校の校歌を探っていくと、それぞれの学校の特長や願いが込められていることに加え、尼崎という地域全体の特色も浮かび上がってきます。近年では、少子化に伴って学校が統合新設され、消えゆく校歌、生まれる校歌もあります。が、小学校校歌は在学中はもちろんのこと、大人になっても忘れ得ない心の故郷のような存在です。

参考資料 : 上坂部小学校 平成24年度 校内研修資料